

症例の概要

| No. | 患者 | | 1日投与量 投与期間 | 副作用 |
|---|----------|---|---------------|---|
| | 性・ 年齢 | 使用理由 (合併症) | | 経過及び処置 |
| 1 | 男 80代 | 骨転移 (肺の悪性新 生物, 良性 前立腺肥大 症, 肺気腫) | 555MBq 1日間 | <p>アナフィラキシー反応 既往歴：胃潰瘍手術, 椎間板ヘルニア手術</p> <p>投与前 (測定時間不明) の血圧SBP157mmHg, DBP99mmHg, 脈拍86回/分。</p> <p>投与開始日 (投与終了日) 本剤, 投与開始</p> <p>投与終了5 ~ 10分後 帰室時, 嘔気, 嘔吐出現。続いて漿液性の痰の増加, 喘鳴が 出現しSpO₂も低下してきたため, 酸素投与開始。 その後もSpO₂改善乏しく, 酸素増量。 また四肢伸側, 体幹に発赤も出現してきたため, アナフィラ キシーと判断し, ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリ ウム点滴を開始。 点滴開始数十分後で発赤は減少し, 喘鳴も減少, 改善した。</p> <p>投与終了 約12時間後 SpO₂>90%となり, 酸素投与を中止した。 アナフィラキシー反応は回復。 投与後 (測定時間不明) の血圧SBP203mmHg, DBP116mmHg, 脈拍115回/分。</p> |
| 併用薬：イミダプリル塩酸塩, タムスロシン塩酸塩, クロルマジノン酢酸エステル, バタネコール塩化物, アンブロキシソール塩酸塩, 補液 | | | | |

症例の概要

| No. | 患者 | | 1日投与量 投与期間 | 副作用 |
|--|----------|--------------------------------------|---------------|---|
| | 性・ 年齢 | 使用理由 (合併症) | | 経過及び処置 |
| 2 | 女 50代 | 骨シンチグラム (直腸癌, 多 発性肝転移, 肺転移) | 740MBq 1日間 | <p>アナフィラキシー様反応 既往歴：4年前に卵巣手術 医薬品副作用歴：フルオロウラシル, 塩酸イリノテカン：嘔吐</p> <p>投与36日前 フルオロウラシル投与開始 投与22日前 塩酸イリノテカン投与開始 投与2日前 腹腔動脈留置リザーバーからフルオロウラシル1gを動脈注射。塩酸イリノテカン40mg点滴静注による化学療法を施行し悪心が続いていた。</p> <p>投与開始日 過テクネチウム酸ナトリウム (^{99m}Tc) 注射液 (740MBq, 1mL) で標識された本剤を静注。 (投与終了日) 投与終了3分後 嘔吐があり, トイレに行きたいと起き上がろうとしたとき, ベッドに倒れ眼球上転。前腕発赤が出現した。</p> <p>投与終了5分後 呼吸停止。意識消失。脈拍触知せず。 投与終了8分後 アンビューバックによる人工呼吸を実施。アドレナリン注射液を投与。</p> <p>投与終了13分後 意識が戻る。注射用メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウムを静注。</p> <p>投与終了23分後 血圧50/不明。昇圧剤を使用。 投与終了73分後 血圧115/56。軽快。 集中治療室にて入院。</p> <p>投与終了1日後 退院 (アナフィラキシー様反応は回復)</p> |
| 併用薬：過テクネチウム酸ナトリウム (^{99m} Tc) 注射液, フルオロウラシル, 塩酸イリノテカン | | | | |